



ぴょんぴょん



VOL.1

豊岡市教育委員会

幼児育成課

2023年5月8日（月）発行

新年度が始まりました！子ども達は新しいクラスで、毎日楽しく元気に過ごしていると思います。先生方におかれましては、お忙しい日々が続くと思いますが、体調に気を付けてお過ごしください。

さて、今年度も年4回巡回訪問をさせていただきます。昨年度に引き続き、仲義 健と上野 真希と今年度から山内 夢斗哉(やまうち むつき)が各園を巡回訪問させていただきます。

すべての子どもたちが、体を動かして遊ぶ楽しさを感じられるよう、運動遊びを展開していきたいと思っています。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

幼児育成課 仲義 健・山内 夢斗哉・上野 真希



運動遊びに関する情報を発信しています。

失敗を「おもしろい」に（そこから何を学ぶか…）

（文＝仲義）

一人盛り上がりが多い私が言うのも何ですが、恐縮ながら、運動遊び巡回訪問で、子どもたちに「受け」がいいなと思う場面がいくつかあります。

具体的に挙げてみると…

- ・（私が）トンネルに見立てた平均台をくぐろうとして、頭をぶつけてしまう場面（写真をご覧ください。）
- ・ 跳び箱で、カニさんに「どうもすみません…」と（私が）謝る場面
- ・ 鉄棒の前回り降りで、（私が）手を離して落ちてしまう場面
- ・ 鉄棒の前回り降りで、見本を見せてくれる子どもの足が、私の頭にぶつかってしまう場面 等々



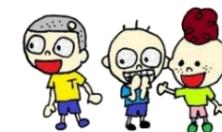
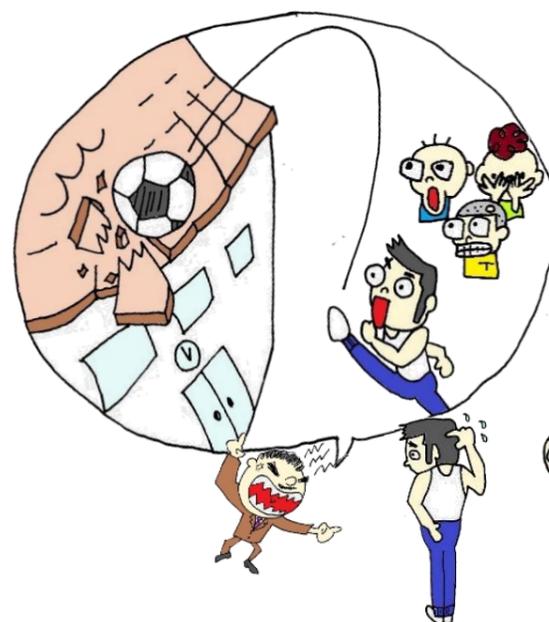
です。こんなふうには書き出してみると、共通した、あることに気が付きます。

それは、子どもたちが「(世間一般的に) 多分、大人はしないだろうな」と思っていることを大人がする(してしまう)場面、だと私は思っています。

遠い昔、小学校の時、私の担任の先生ではありませんでしたが、ある先生が昼休みにクラスの子どもたちと一緒にサッカーをされていました。体力自慢のその先生が蹴り上げたボールは、子どもではあり得ないくらい、とてつもない高さで空に舞い上がっていました。私も含め、多くの子どもたちは、そんな先生を憧れの目で見つめながら、そして、大喜びしていました。

そんな光景が昼休みの常となっていた頃、その高く舞い上がったボールが木造2階建て校舎の屋根を直撃し、なんと、瓦が割れてしまいました。それを見ていた、当時の教頭先生が「こらー！〇〇ー！何しとんじやー！」と、その先生を呼び捨てにして、叫ばれました。漫才のような

その光景に子どもたちは大爆笑。と同時に、子どもながらに「(叱られるのは子どもだけだと思っていたけど、)先生も叱られとんなるわあ…。大人になってもそんなことがあるんだ…。」と、思ったのでした。そして、当時の私たちは、その先生のことがさらに大好きになっていったのでした。



おそらく、多くの子どもたちが「大人は失敗をしない」、「大人はいつも正しいことを言う(する)」、そんなふうには大人を見ているのではないのでしょうか。きっと、周りにいる多くの大人たちが、そんなふうには接しているからかもしれません。だからこそ、それ(既成概念)が覆されたとき、子どもたちはそのことをとても楽しんだり、面白がったりするのでしよう。

ところで、『生きる力』の評定項目の一つに、「小さな失敗をおそれない」があります。

子どもたちにはいろいろなことに積極的に挑戦してほしいと思いますが、「やる気」や「興味・関心」などは、楽しいことや面白いことから生まれやすくなるはずで。子どもたちの前に立つ私たちとしては、できればケガはしたくないし、瓦も割りたくないものです。失敗ばかりはしてはもらえませんが、それでも「あー、先生も失敗することがあるんだわ。僕(私)らと一緒にやん。」くらいのほうが、子どもたちは、良い意味で安心して、小さな失敗をおそれず、いろいろなことに挑戦する姿を見せてくれるのではないのでしょうか。

子どもたちは私たちがよく見ています。子どもたちから信頼される人は、失敗しない人、ではなく、失敗しても、そのことをごまかさず、子どもたちの前で(も)真摯に受け入れられる人、だと思います。

この4月から初めてクラス担任になりドキドキされている先生、今年はもっと楽しいクラスにしたいな、と思われている先生、(命や人権に関する事項は別として)ぜひ、私たち大人も、子どもたちと一緒に、小さな失敗をおそれずに、むしろ失敗を通して、ともに楽しみながら学び合い、成長できる1年にしたいですね。

運動遊びで大切にしたいこと

今年度の運動遊びがスタートしました。今年度も先生方の力をお借りしながら、笑顔あふれる運動遊びになるよう努めて参ります。どうぞよろしくお願いいたします！

さて、先生方におかれましては、新しいクラスの子ども達とどんな運動遊びをしようかとお悩みの先生もおられると思います。

そこで今回は、誰もが安心して運動遊びを楽しむためのヒントをお伝えしたいと思います！

ここだけはおさえたい！

～運動遊びのポイント～

心が動く場面を見逃さない

「おもしろそう」「やってみよう」といった気持ちや姿を大切に、子どもの心が少しでも動いた瞬間を見逃さず、丁寧に声を掛けましょう。そのためにもぜひ、「笑顔・褒める・触れ合う」を意識して、大人も一緒に体を動かした遊びを楽しみましょう！



やりたくなくてもOK！ どんな気持ちも受け止めよう

みんなが遊びに参加してほしいという思いから、つい参加を促したくなるころですが、まずは本人の気持ちを聞いてみましょう。そして、一人一人が安心して過ごせるよう寄り添ってみてください。



運動遊びを楽しむコツ

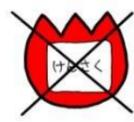
- ・ ルールや指示はできるだけ簡潔にして、運動量を確保しましょう！
- ・ 子どもの声は楽しさのパロメーター！子どもの声を引き出しながら遊びましょう！
- ・ 年齢や発達段階に合わせた友達同士の関わりを意識しましょう！

運動遊び巡回訪問時のお願い

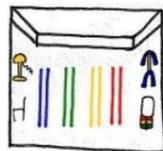
怪我なく楽しんで遊びを行うために、以下のことにご協力をお願いします。



スモックは脱がせてください



名札は外してください



使用しない道具はできるだけ隅に移動させてください



運動遊び指導員を紹介します♪



今年度からお世話になります
山内 夢斗哉(やまうち むつき)
です。サッカーが大好きです！
子ども達と楽しい時間が過ごせるよう尽力していきたいと思
います。よろしくお願いいたします！

